

3 割負担の料金

保険適用料金表

- 一般不妊治療
 - ： 一般不妊治療管理料 750円（3か月に1回）
 - ： 人工授精 5,460円

■ 高度生殖医療

(1) 生殖補助医療管理料 900円（1か月に1回）

(2) 採卵基本料 9,600円 ※ 麻酔料金別途

採卵基本料金	採卵個数料金		採卵基本料金+採卵個数料金
9,600円	1個	7,200円	計 16,800円
9,600円	2-5個	10,800円	計 20,400円
9,600円	6-9個	16,500円	計 26,100円
9,600円	10個以上	21,600円	計 31,200円

(3) 体外受精・顕微授精

① 体外受精 12,600円

② 顕微授精

1個	14,400円
2-5個	20,400円
6-9個	30,000円
10個以上	38,400円

※卵子調整加算 3,000円

- 体外受精及び顕微授精を同時に実施した場合
顕微授精代+体外受精代の半額(6,300円)
- TESE 精子を使用した場合
採取精子調整料として(15,000円)の加算

(4) 受精卵・培養管理料

1個	13,500円
2-5個	18,000円
6-9個	25,200円
10個以上	31,500円

(5) 胚盤胞加算

1個	4,500円
2-5個	6,000円
6-9個	7,500円
10個以上	9,000円

(6) 胚凍結保存管理料

1個	15,000円
2-5個	21,000円
6-9個	30,600円
10個以上	39,000円

- 胚凍結保存維持管理料（10,500円）
凍結保存の開始日から起算して3年を限度とする
（2回まで）
※妊娠などで通院していない方は自費精算となります

(7) 胚移植

新鮮胚移植	22,500円
凍結融解胚移植	36,000円

- AHA（アシステットハッチング）料金 3,000円
- 高濃度ヒアルロン酸含有培養液料金 3,000円

■ 男性不妊治療

精巣内精子採取術

単純なもの	37,200円
顕微鏡を用いたもの	73,800円

精巣内精子採取術の適応の判断を目的に実施

- Y染色体微小欠失検査料金（1回のみ） 11,310円

3割負担の料金目安

2022年 4月 1日 ~

採卵料金(共通)

お支払い日	手技料	個数			
		1個	2-5個	6-9個	10個以上
採卵当日	採卵料金	9,600	9,600	9,600	9,600
	個数分	7,200	10,800	16,500	21,600
	計	16,800	20,400	26,100	31,200

～ 体外授精の場合 ～

お支払い日	手技料	個数			
		1個	2-5個	6-9個	10個以上
採卵後診察	体外授精料金	12,600	12,600	12,600	12,600
	受精卵培養管理料	13,500	18,000	25,200	31,500
	胚盤胞培養加算	4,500	6,000	7,500	9,000
	胚凍結保存管理(初年度)	15,000	21,000	30,600	39,000
	計	45,600	57,600	75,900	92,100

～ 顕微授精の場合 ～

お支払い日	手技料	個数			
		1個	2-5個	6-9個	10個以上
採卵後診察	顕微授精料金	14,400	20,400	30,000	38,400
	受精卵培養管理料	13,500	18,000	25,200	31,500
	胚盤胞培養加算	4,500	6,000	7,500	9,000
	胚凍結保存管理(初年度)	15,000	21,000	30,600	39,000
	計	47,400	65,400	93,300	117,900

～ 体外・顕微授精併施の場合 ～

お支払い日	手技料	個数			
		1個	2-5個	6-9個	10個以上
採卵後診察	顕微授精料金	14,400	20,400	30,000	38,400
	体外授精併施加算	12,600	6,300	6,300	6,300
	受精卵培養管理料	13,500	18,000	25,200	31,500
	胚盤胞培養加算	4,500	6,000	7,500	9,000
	胚凍結保存管理(初年度)	15,000	21,000	30,600	39,000
	計	47,400	71,700	99,600	124,200

金額は目安の金額であり、薬代、検査料金等別途費用が必要になります。
 ※先進医療を実施した場合は別途先進医療料金(自費)が発生します。